直結加圧形ポンプユニット

MC4-W3

75mm

（社）日本水道協会認証品

50Hz/60Hz

テラル株式会社

2台並列3台ローテーションタイプ

安心で良質の給水システム

※写真と実際のユニットは、一部異なる場合がありますのでご了承ください。

■特　長

①コンパクトキャビネット

永久磁石内蔵形モータ採用の小型･高効率ポンプと、ポンプ周りの配管類を集約したバルブユニット（PAT.）によりキャビネットをコンパクト化しました。（標準キャビネットサイズ:W1150×L450×H1690）ポンプメンテナンス時には、吸込･吐出を同時に操作できるバルブユニットを閉止し、吸込･吐出を一体化したポンプフランジのボルトを外すだけで容易にポンプを取り外すことができます。

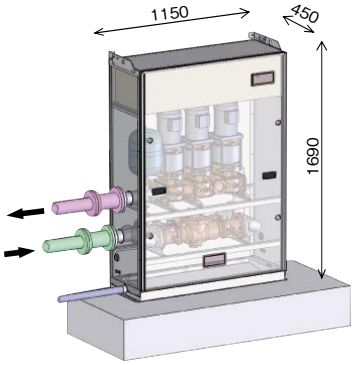
②並列逆流防止器（φ75+φ50）標準搭載

逆流防止器を2台並列に搭載しているので断水する事無く逆流防止器のメンテナンスが行えます。
さらに、φ75逆流防止器のメンテナンス時に給水能力低下を抑えるため、予備の逆流防止器はφ50サイズを標準としました。
（要望に応じて仕様変更可能です。各水道事業体の仕様をご確認の上、選択ください。）

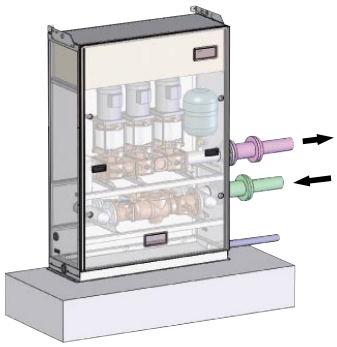
③多彩なバリエーション対応可能（標準サイズにて）

配管施工状況に合わせて選択出来る様に、左配管、右配管、下配管※の配管接続のバリエーションをご用意いたしました。
もちろん、逆流防止器は吸込側取付･吐出側取付いずれでも対応可能です。また、逆流防止器は標準のφ75+φ50並列のほかφ75+φ75並列やφ75単独仕様も選択可能。いずれの仕様も標準キャビネットサイズのまま対応できます。
（※下配管時のスペース確保の為に+250mmの嵩上げ架台を追加する事もできます。）

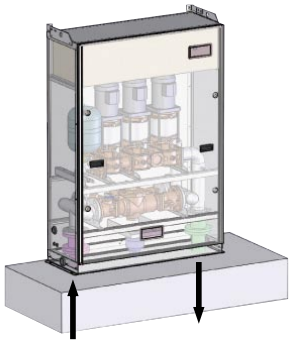
左配管【標準】



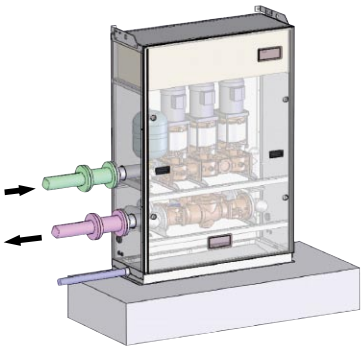
右配管



下配管



左配管
（逆流防止器吐出側取付仕様）



下配管
（嵩上げ架台付属）

④充実装備・高機能

●力率改善リアクトル標準装備
●ドレンパン標準装備
●漏水点検窓標準装備
●転倒防止支え金具標準装備(位置調整可能範囲20mm)
●ポンプ個別にサーマルフロースイッチを標準装備
●高機能制御盤操作部(弊社NXシリーズと同等)
●ステンレス製キャビネット標準採用

⑤配水管の圧力に与える影響が少ないソフトスタート・ソフトストップ方式

インバータによる回転数制御をするソフトスタート・ソフトストップ方式でポンプ起動・停止時における配水管への影響を抑えています。

⑥省エネ効果に優れた推定末端圧力一定

使用水量に応じてポンプの回転数を変化させ、また、同時に変化する配管抵抗の圧力を加減して給水末端での圧力が一定となるように吐出圧力を制御しますので余分な圧力が発生する事がなく省エネルギーです。

⑦小流量停止・流入圧力高圧停止機能

使用水量が減少した場合は、ポンプを停止させます。
また、ポンプユニットへの流入圧力が設定圧力より高圧になった場合はポンプを停止させ、バイパス配水管圧力を利用した直圧給水が可能です。

⑧フェールセーフ機能

停電によるポンプ停止時にはバイパス配管を利用した直圧給水が可能です。

⑨バックアップコントローラ対応(特殊仕様)

バックアップ専用の制御基板と圧力発信器を追加することにより給水用制御基板故障時と圧力発信器故障時に給水性能を劣化することなく給水を継続します。

⑩新水質基準適合品

接液部にはステンレス等を採用し、赤水対策はもちろんのこと、より安全な水を提供するための万全の対策を施しています。

⑪日本水道協会認証登録品

(社)日本水道協会規格:水道用直結加圧形ポンプユニット(JWWA B130)の適合品です。

⑫運転台数制限機能対応(特殊仕様)

外部信号入力中は並列運転を禁止します。
非常用電源使用時など一時的に電源容量を抑えたい場合に最適な機能です。

※運転台数制限中のユニット性能はポンプ1台分となります。
※インターロック機能は使用できません。

■型式説明

MC4	-	75	40	-	1.5	A	W3	
①		②	③		④	⑤	⑥	⑦

①キャビネット型直結給水ブースタユニット
②ユニット呼称径
③ポンプ呼称径
④出　力
⑤識別記号　：重復機種がある場合のみ、末尾にアルファベットを付加して識別する(順に、A、B、…とする。)
⑥運転方式　：W3…2台並列3台ローテーション運転
⑦逆流防止器：記号ナシ…並列式逆流防止器[φ75+φ50]吸込側取付
　　ーGD…並列式逆流防止器[φ75+φ50]吐出側取付

■標準仕様

項　目		仕　様
ユニット型式		MC4-W3 型 [(社)日本水道協会認証登録品]
運転方式		2 台並列 3 台ローテーション運転
制御方式		回転数制御による推定末端圧力一定制御／吐出圧力一定制御
取扱液		液質 : 清水、液温 :0 ～ 40℃
設置場所		屋外・屋内(周囲温度 :0 ～ 40℃・ RH85% 以下・結露なきこと・標高 1,000m 以下・直接日光の当たらない場所)
使用電源		三相 200/200/220V(50/60/60Hz)、出力 :1.5 ～ 7.5kW×2
ポンプ		MC4W 型立形多段ポンプ
電動機		全閉外扇形永久磁石内蔵形モータ
キャビネット		ステンレス製　表面ヘアーライン仕上げ
圧力タンク		DPT10 型(ダイヤフラム式タンク)、容量 :10ℓ
逆流防止装置		減圧式逆流防止器 [(社)日本水道協会認証登録品](φ75+φ50 の並列式)
制御盤	保護機能	過負荷、漏電、インバータトラブル、異常低圧、高温、過電流、過電圧、不足電圧、インバータ過熱、通信異常、高温スイッチ異常、速度異常、起動頻度異常、吐出側圧力発信器異常、吸込側圧力発信器異常、吸込圧力低下
	表示	表示灯によるもの : 電源、ポンプ運転(個別)、ポンプ運転禁止(個別)、異常(一括) 各 種 通 常 表 示 : 吐出圧力、吸込圧力、電源電圧※1、運転電流値(個別)※1、運転回転数(個別) 積算運転時間(個別)、積算起動回数(個別)、前日のユニット起動回数、警報履歴(過去 5 件分) 異　常　表　示 : 各種異常状況を番号にて表示
	外部出力	警報用電源(電圧は電源電圧)、流入電磁弁出力(電圧は電源電圧)、運転・故障信号※2(無電圧 a 接点)
	外部入力	外部停止信号(システムインターロック):a/b 接点対応

※1 電源電圧･運転電流値は目安値です。保守･点検時には計測器を使用してください。
※2 外部出力端子(外部リレー出力)は簡単な設定の変更で、様々なパターンに切り替え可能です。
注）小流量で長時間連続して使用する場合は、起動頻度過多や水温上昇等の問題が生じるおそれがありますので別途ご相談ください。
　　フラッシュバルブ等を使用する場合は、急激な圧力低下により給水不足や騒音、圧力タンクの早期破損等の問題が生じるおそれがありますので別途ご相談ください。

■特殊仕様

- 漏水検知器付
- 凍結防止仕様
- 嵩上げ架台付(250mm)
- 逆流防止器吐出側取付
（水道事業体により使用可能）
- 並列式逆流防止器(φ75+φ75)
（水道事業体により使用可能）
- 単独式逆流防止器(φ75)
- 配管接続方向変更(右吸込/右吐出、下吸込/下吐出)
- キャビネット指定色
- バックアップコントローラ仕様
- 運転台数制限機能

■特別付属品

- 高置水槽対応電磁弁
- 基礎ボルト

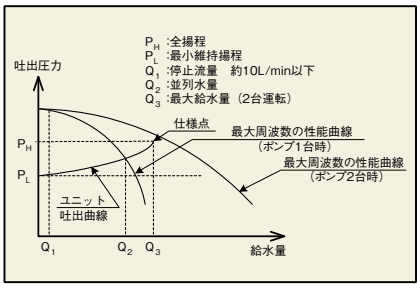
■制御盤仕様一覧

項　目	仕　様			
制御盤型式	BQMC4C-232			
筐体材質・外観色	鋼板製、マンセル5Y7/1半つや			
電　源	三相･200/200/220V 50/60/60Hz			
出力範囲	1.5kW～7.5kW			
運転方式	2台並列3台ローテーション			
回路構成	漏電遮断器(個別)			
	力率改善DCリアクトル全出力標準装備			
	専用DCBLコントローラ			
	電極棒、電磁弁回路【高置水槽方式の場合のみ使用】			
機　能	故障時自動切換、ポンプ運転時間均一化機能、強制運転、外部停止信号(インターロック)対応、ブザー停止タイマー設定、満減水警報自動復帰設定、警報ブザー、ブザー停止スイッチ			
表示等	電源LED、運転LED(ポンプ毎)、運転禁止LED(ポンプ毎)、異常LED			
各種表示	吐出圧力[m]、電源電圧[V]、運転電流[A]、運転回転数[min⁻¹]、積算運転時間[h]、積算起動回数[回]			
異常表示	高置水槽満水	E001	n号漏電	En03
	高置水槽減水	E002	n号高温	En04
	高置水槽電極異常	E004	n号高温スイッチ異常	En06
	起動頻度異常	E006	n号過電流	En11
	逆流防止器漏水	E008	n号過電圧	En12
	吸込圧力低下	E009	n号不足電圧	En13
	吐出圧力発信器異常	E051	n号速度異常	En15
	吸込圧力発信器異常	E052	n号インバータ過熱	En17
	EEPROMエラー	E080	n号通信異常	En18
	n号過負荷	En01	n号インバータトラブル1	En19
	n号異常低圧	En02	n号インバータトラブル2	En20
外部出力	警報用電源出力(電源電圧)			
	電磁弁出力(通電時開閉選択可)			
	運転信号(個別、無電圧a接点)			
	故障信号(5点、パターン0～4)			

（注）1. nにはポンプ号数が入ります。
　　2. 電源電圧･運転電流値は目安値です。フルスケールに対し10%程度の誤差があります。

■動作説明

＜通常時＞



⑴水が使用され、吐出配管内圧力が、あらかじめセットされた最小維持揚程（PL）まで低下すると、圧力発信器によりこれを検知してポンプが起動します。
⑵最大給水量（Q3）までの間、使用水量の増減に合わせてインバータで回転数を制御し、推定末端圧力一定制御をおこないます。
⑶使用水量が増大し、2台目並列水量（Q2）付近になると2台目のポンプが追従起動します。
⑷ポンプ2台並列運転時も給水量が変化するとユニット吐出曲線のカーブに応じた圧力で運転を継続します。
⑸使用水量が減少し、圧力が2台目並列水量（Q2）以下になると、追従したポンプが停止し、先発ポンプのみの運転となります。
⑹さらに使用水量が減少し、停止流量（Q1）以下となると、フロースイッチによりこれを検出してポンプが停止します。
⑺再び水が使用されると、前回休止していたポンプが起動し、上記と同様の動作をおこないます。

＜吸込圧力上昇時＞

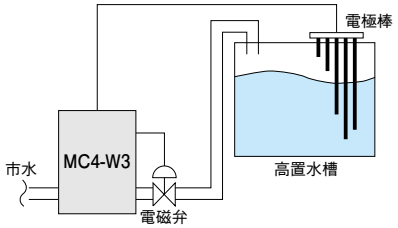
夜間等に配水管の圧力が上昇し「吸込圧力高」設定値以上になると、ポンプは自動停止し、バイパス配管により配水管自身の圧力で給水します。

＜吸込圧力低下時＞

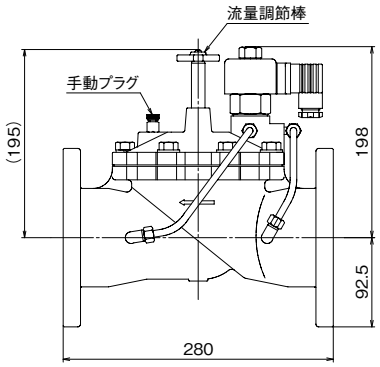
給水制限時や配水管の事故·停電等で配水管の圧力が減少し「吸込圧力低低」設定値以下になると、ポンプは自動停止し、配水管の圧力復帰待ちの状態となります。
配水管の圧力が復帰し「吸込圧力低」設定値以上になると、ポンプは自動的に運転を再開します。

■高置水槽方式について

高置水槽方式では、動作や操作方法が直結加圧方式と異なります。高置水槽方式でご使用される場合は、高置水槽対応電磁弁を直結加圧形ポンプユニットの直接吐出側に設置し、必ず電極棒による水位制御を行うようにしてください。
「高置水槽対応電磁弁は必ず弊社推奨品を使用してください。」
（高置水槽対応電磁弁は特別付属品でご用意しております。また、高置水槽方式へは制御盤にて設定値を変更することで変更可能です。）



■電磁弁



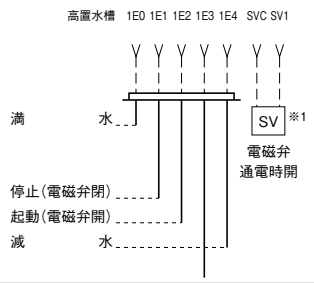
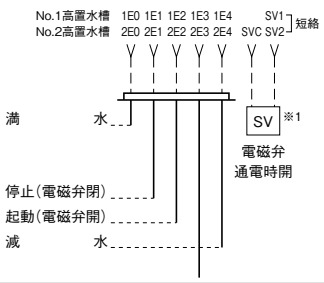
型式：D75MF

●仕様

作動圧力	0.03～1.0MPa
最高使用温度	60℃
作　動	通電時開
使用流体	清水・温水
電　源	AC200V　50/60Hz：4.7/3.5(W)
絶縁種別	B 種
本体材質	CAC406
接続フランジ	JIS10K　並形　80A

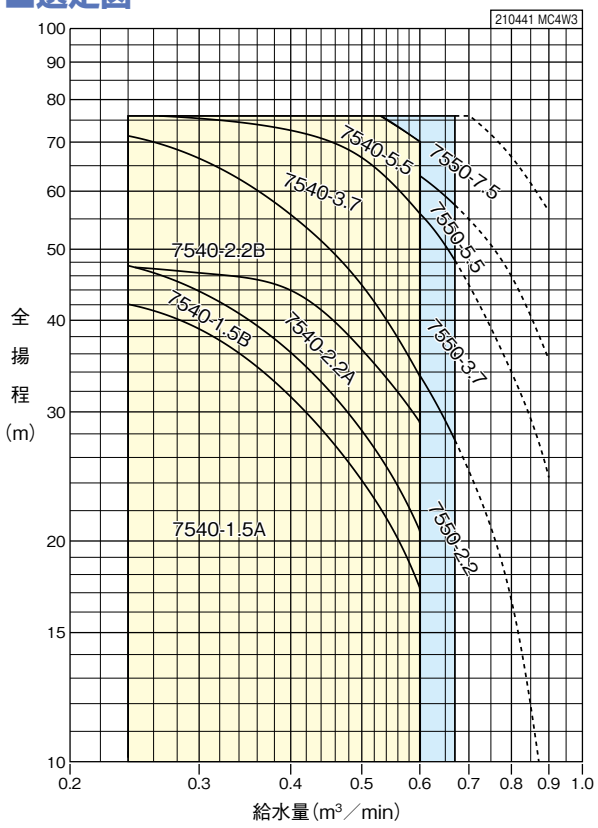
■電極棒・電磁弁接続パターン

高置水槽水位制御は、以下のパターンより選択可能です。
出荷時には水槽選択・電磁弁動作選択共に非選択ですので、配線後ご使用に応じて選択してください。
水槽選択・電磁弁動作選択内の●は点灯を示し、○は消灯を示します。

	高置水槽1槽式	高置水槽2槽式
水槽·電磁弁選択	水槽選択　No.1 ● 共用 ○ No.2 電磁弁動作選択　手動開 ○　手動開 ○　自動 ●	水槽選択　No.1 ● 共用 ● No.2 電磁弁動作選択　手動開 ○　手動開 ○　自動 ●
電極5P使用		

※1電磁弁出力の電圧は電源電圧となります。

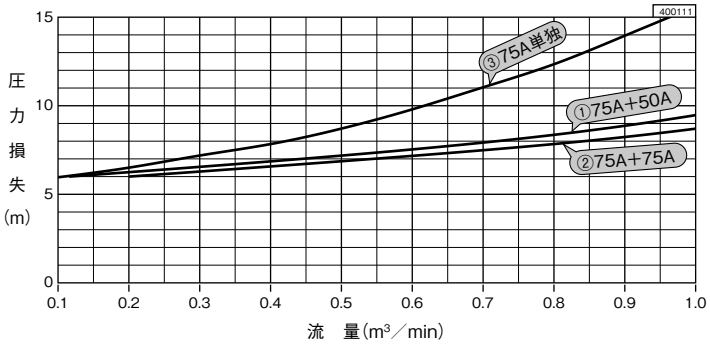
■選定図



■減圧式逆流防止装置圧力損失表

（ストレーナ付きボール止水栓、ボール止水栓を含む）

①75mm+50mm減圧式逆流防止器
②75mm+75mm減圧式逆流防止器
③75mm減圧式逆流防止器単独



（注）1. 直結加圧形ポンプユニットの選定にあたって、下記の「全揚程の求め方」を参照の上、建物全揚程を算出し上記選定図より選定してください。
2. 上記選定図は、ユニット内部圧力損失（逆流防止器圧力損失を除く）を減じた値です。したがってユニット内部圧力損失をあらためて減じる必要はありません。

■仕様表

呼称径 mm 吸込	呼称径 mm 吐出	型式	出力 kW×2	相・電圧 V	標準仕様 最大給水量 m³/min	標準仕様 全揚程（ユニット） m	標準仕様 圧力タンク封入圧力 MPa(kgf/cm²)	仕様範囲 最大給水量 m³/min	仕様範囲 増圧設定範囲 m	騒音値 dB(A)	力率 %	漏電遮断器容量 A
75	75	MC4-7540-1.5AW3	1.5	三相・200（50Hz） 三相・200/220（60Hz）	0.53	22	0.17(1.7)	0.24～0.60	10～42	47	93.2	30
		MC4-7540-1.5BW3	1.5		0.53	26	0.20(2.0)	0.24～0.60	17～47	47	93.0	40
		MC4-7540-2.2AW3	2.2		0.53	34	0.25(2.5)	0.24～0.60	21～47	48	93.1	40
		MC4-7540-2.2BW3	2.2		0.53	41	0.29(3.0)	0.24～0.60	29～71	49	91.6	60
		MC4-7540-3.7W3	3.7		0.53	63	0.43(4.4)	0.24～0.60	34～76	49	93.7	60
		MC4-7540-5.5W3	5.5		0.53	76	0.44(4.5)	0.24～0.60	56～76	53	92.1	100
		MC4-7550-2.2W3	2.2		0.67	27	0.21(2.1)	0.60～0.67	10～33	46	93.7	60
		MC4-7550-3.7W3	3.7		0.67	48	0.33(3.4)	0.60～0.67	27～55	49	93.7	60
		MC4-7550-5.5W3	5.5		0.67	57	0.39(4.0)	0.60～0.67	48～62	53	94.0	100
		MC4-7550-7.5W3	7.5		0.67	76	0.44(4.5)	0.54～0.67	57～76	53	94.0	125

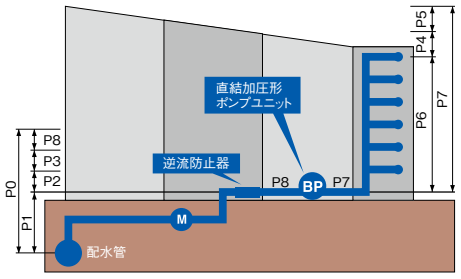
注 1）最高使用圧力（給水全揚程の最大値は）0.75MPa（7.6kgf/cm²）です。
　　最高使用圧力≧給水全揚程＝押込圧力＋全揚程（ユニット）－逆流防止装置圧力損失、となるように選定してください。
注 2）型式は表中の型式末尾に逆流防止器のタイプおよび取付位置によりGDがつく場合があります。
注 3）圧力タンク封入圧力値は、使用する全揚程により変更致します。
注 4）仕様範囲の最大給水量は参考（推奨値）です。
注 5）仕様範囲の増圧設定範囲はユニットの吐出圧力から流入圧力を引いた値です。（但し逆流防止装置を除く）
注 6）騒音値は、仕様範囲の最大値で（A）スケールで表示しています。（半無響室内・扉正面機測 1m での測定値）
注 7）力率は、最大負荷・最高回転数時の弊社内測定値です。実際の現場では、電源側の条件や運転状況により変化する場合があります。
注 8）漏電遮断器容量は、直結加圧形ポンプユニットの 1 次電源側に設置する場合の値で、参考値です。
　　制御盤に内蔵している漏電遮断器の容量を確認し、保護協調を考慮して電源側漏電遮断器を選定してください。

■全揚程の求め方

全揚程（直結加圧形ポンプユニット加圧分）＝P7－P8＝（P1＋P2＋P3＋P4＋P5＋P6）－P0

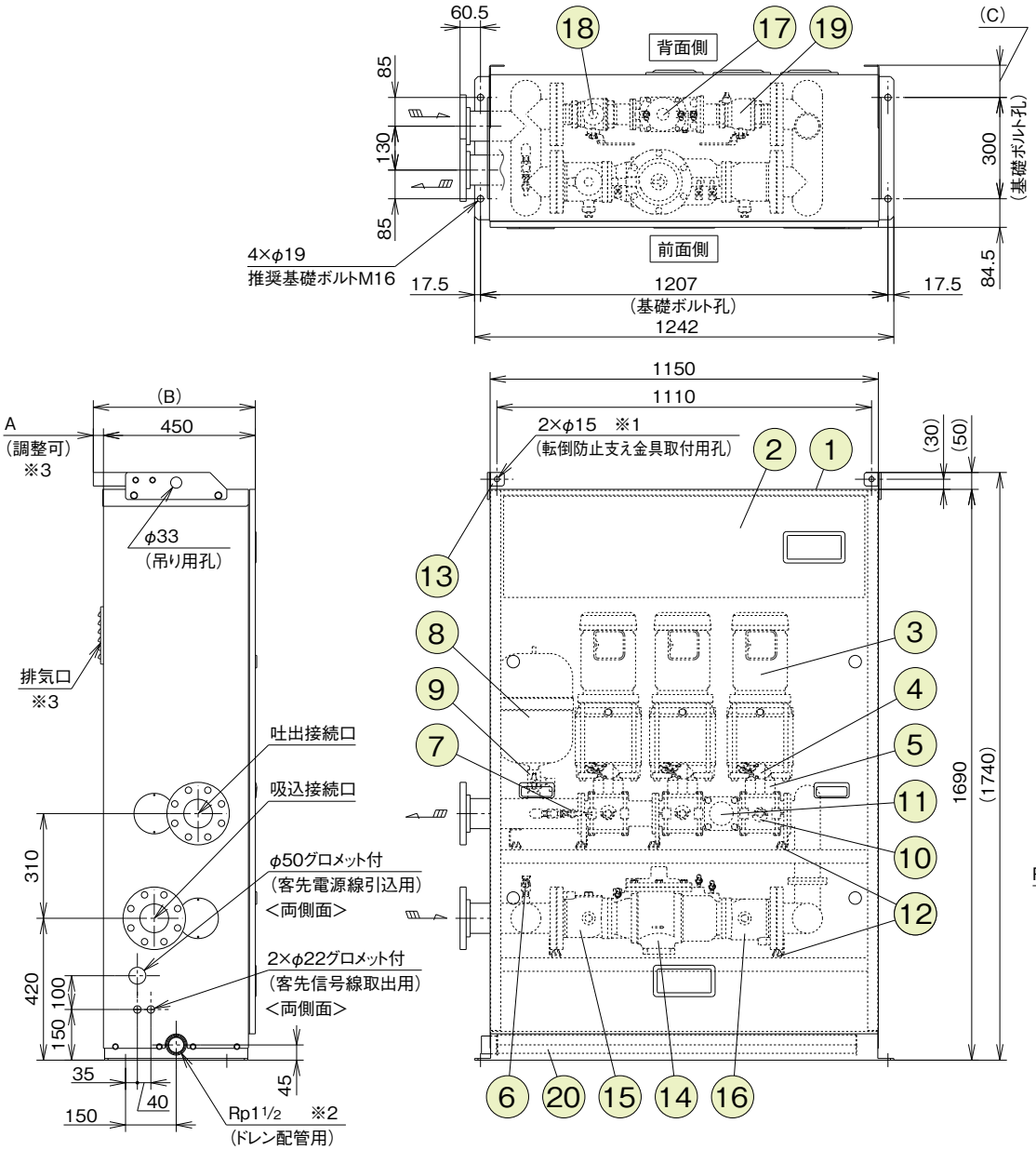
P0:配水管水圧
P1:配水管と直結加圧形ポンプユニットとの高低差
P2:直結加圧形ポンプユニットの吸込側の給水管や給水器具等の圧力損失
P3:直結加圧形ポンプユニットの圧力損失（逆流防止器損失）※1
P4:直結加圧形ポンプユニットの吐出側の給水管や給水器具等の圧力損失
P5:末端最高位の給水器具を使用するために必要な圧力
P6:直結加圧形ポンプユニットと末端最高位の給水器具との高低差
P7:直結加圧形ポンプユニットの吐出圧力
P8:ポンプ吸込側有効圧力

注）※1　P3は逆流防止器損失とユニット内損失の和となります。弊社の選定図では、ユニット内損失を引いた性能表示していますので、逆流防止器損失のみとなります。



注:図は逆流防止器を吸込側に設置した場合です。

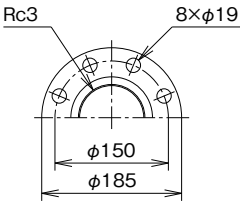
■外形寸法図（逆流防止器並列仕様（75A+50A）、左吸込左吐出）



■部品表

No.	部品名	個数
1	キャビネット	1
2	制御部	1
3	ポンプ	3
4	サーマルフロースイッチ	3
5	逆止弁	3
6	圧力発信器(吸込側)	1
7	圧力発信器(吐出側)	1
8	圧力タンク(10ℓ)	1
9	TJバルブ	1
10	バルブユニット	1
11	バイパス用逆止弁	1
12	防振ゴム	12
13	転倒防止支え金具　※1	2
14	減圧式逆流防止器	1
15	ボール止水栓(ストレーナ内蔵)	1
16	ボール止水栓	1
17	減圧式逆流防止器(点検用50A)	1
18	ボール止水栓(ストレーナ内蔵)	1
19	ボール止水栓	1
20	ドレンパン	1

吸込・吐出相フランジ
(付属品)



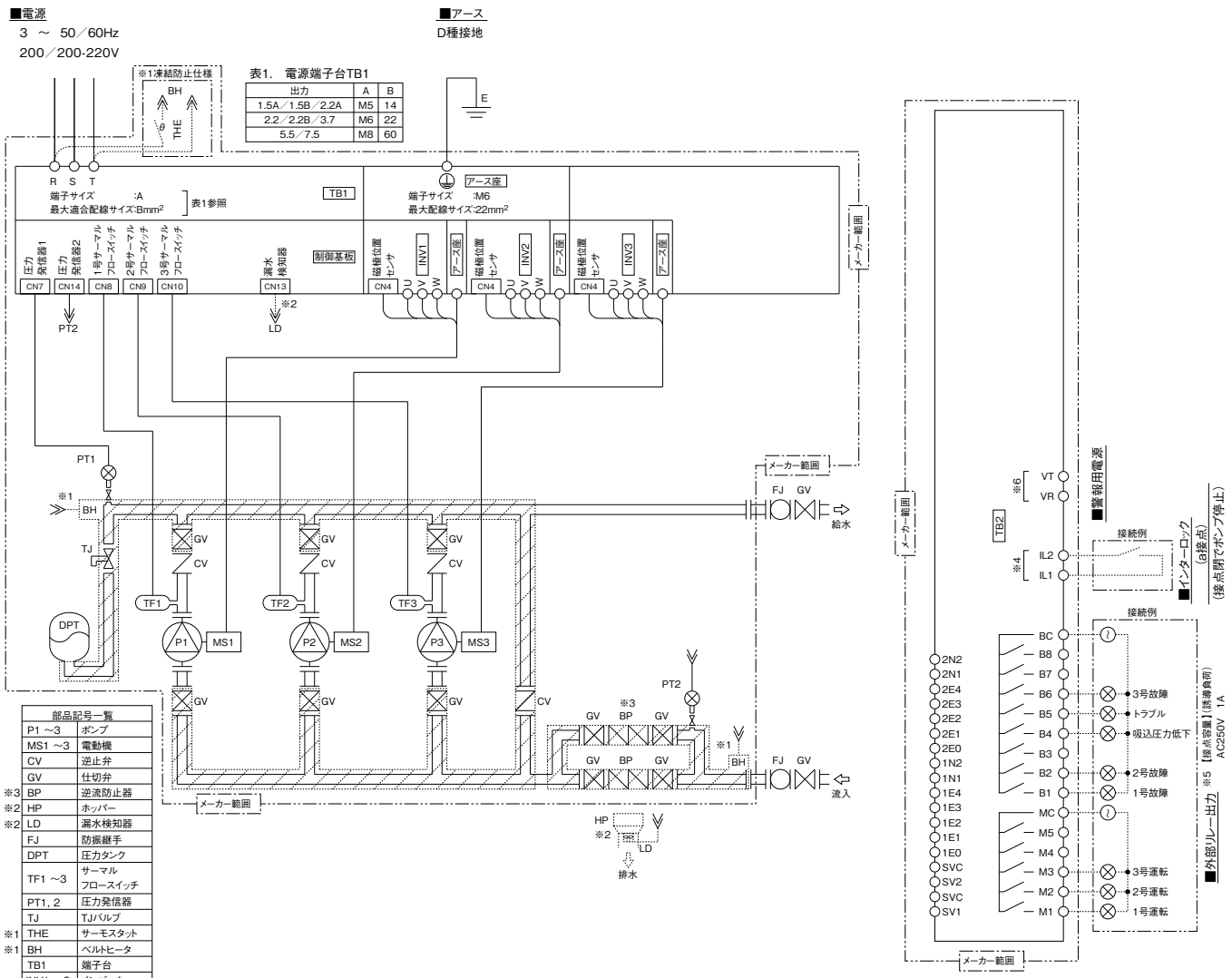
※1　支え金具は吊り金具・転倒防止支え金具としてご使用ください。
※2　減圧式逆流防止器より水が出ることがありますのでドレン配管を設けてください。
※3　出力3.7kW以上のみ背面に排気口があります。
排気口がある場合は製品の背面と壁面との間に30mm以上の空間を設けてください。
製品の前面に最低600mm以上の点検スペースを設けてください。
[ご注意]
図は代表図です。機種や仕様によっては多少形状が異なる場合があります。
設計変更などにより仕様が一部変更となる場合があります。
実施計画に当たりましては、納入仕様書をご要求ください。

■寸法表

(単位：mm)

型式	出力 kW×2	A	B	C	概算質量 kg
MC4-7540-1.5AW3	1.5	0～20	450～470	65.5～85.5	398
MC4-7540-1.5BW3	1.5	0～20	450～470	65.5～85.5	411
MC4-7540-2.2AW3	2.2	0～20	450～470	65.5～85.5	411
MC4-7540-2.2BW3	2.2	0～20	450～470	65.5～85.5	431
MC4-7540-3.7W3	3.7	30～50	480～500	95.5～115.5	434
MC4-7540-5.5W3	5.5	30～50	480～500	95.5～115.5	450
MC4-7550-2.2W3	2.2	0～20	450～470	65.5～85.5	431
MC4-7550-3.7W3	3.7	30～50	480～500	95.5～115.5	434
MC4-7550-5.5W3	5.5	30～50	480～500	95.5～115.5	450
MC4-7550-7.5W3	7.5	30～50	480～500	95.5～115.5	451

■接続図



部品記号一覧	
P1 ～3	ポンプ
MS1 ～3	電動機
CV	逆止弁
GV	仕切弁
※3 BP	逆流防止器
※2 HP	ホッパー
※2 LD	漏水検知器
FJ	防振継手
DPT	圧力タンク
TF1 ～3	サーマルフロースイッチ
PT1, 2	圧力発信器
TJ	TJバルブ
※1 THE	サーモスタット
※1 BH	ベルトヒータ
TB1	端子台
INV1 ～3	インバータ
TB2	端子台

TB2端子配列　端子サイズ:M3　最大適合配線サイズ:1.25mm²

IL1	IL2	1E0	1E1	1E2	1E3	1E4	1N1	1N2	2E0	2E1	2E2	2E3	2E4	2N1	2N2	BC	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	MC	M1	M2	M3	M4	M5			SV1	SVC	SV2	SVC	VR	VT

※1　凍結防止仕様のサーモスタット・ヒータ等は、特殊仕様となります。(TB1へ接続されます。)
※2　漏水検知器付仕様の漏水検知器等は、特殊仕様となります。
※3　逆流防止器は仕様により単独となる場合もあります。
※4　インターロック機能を使用する場合に接続します。
　　インターロック機能の入力信号は、出荷時にはa接点ですが、設定によりb接点にすることも可能です。
※5　外部リレー出力は、設定により出力内容を変更することが可能です。詳細は、外部出力端子(外部リレー出力)パターンをご覧ください。
※6　警報用電源の電圧は、電源電圧となります。また、合計2A以内でご使用ください。

■外部リレー出力パターン

端子	P100設定値				
	0	1	2	3	4
M1	1号運転	1号運転	1号運転	1号運転	一括運転※6
M2	2号運転	2号運転	2号運転	2号運転	点検作業中※7
M3	3号運転	3号運転	3号運転	3号運転	-
B1	1号故障※1	重故障※3	過負荷	INVトリップ※8	1号故障※1
B2	2号故障※1	軽故障※4	異常低圧	異常低圧	2号故障※1
B3	-	-	漏電	漏電	-
B4	吸込圧力低下	吸込圧力低下	吸込圧力低下	吸込圧力低下	吸込圧力低下
B5	トラブル※2	一括故障※5	一括故障※5	一括故障※5	トラブル※2
B6	3号故障※1	-	-	-	3号故障※1

※1『n号故障』はn号ポンプに次の警報が発生すると出力されます。(n:1～3)
　異常低圧、漏電、高温、高温スイッチ異常、INVトリップ
※2『トラブル』は、次の警報が発生すると出力されます。
　起動頻度異常、圧力発信器1異常、圧力発信器2異常、EEPROMエラー、漏水
※3『重故障』は、何らかの警報発生中で、自動運転可能なポンプが無い場合に出力されます。
　ただし、すべてのポンプが運転禁止設定になっている場合、吸込圧力低下発生時を除きます。
※4『軽故障』は、何らかの警報発生中に、自動運転可能なポンプがある場合に出力されます。
※5　一括故障は、種類を問わず警報が発生すると出力されます。
※6　一括運転は、いずれかのポンプが運転中に出力されます。
※7　点検作業中は点検作業モード中に出力されます。
※8　INVトリップは、次の警報が発生すると出力されます。
　過負荷、過電流、過電圧、不足電圧、速度異常、インバータ過熱、通信異常、インバータトラブル1、インバータトラブル2

MEMO

MEMO

MEMO

全国24時間サポート体制

毎日安心して使っていただくために、万全のサポート体制を整えています。もしトラブルが発生しても、専門スタッフが24時間ただちに急行し、適切な処置を行います。給排水のプロ、テラルだからできるサービスです。

テラル株式会社

本　　社 福山市御幸町森脇230 〒720-0003 TEL.084-955-1111 FAX.084-955-5777
東京支社 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル6階 〒112-0004
www.teral.net

東京支社				
東京産業システム課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル6階	〒112-0004	TEL.03-3818-8101	FAX.03-3818-6798
東京環境システム課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル5階	〒112-0004	TEL.03-3818-7766	FAX.03-3818-5031
東京開発課			TEL.03-3818-6846	FAX.03-3818-5031
東京工事課			TEL.03-3818-7764	FAX.03-3818-5031
東北支店				
仙台営業所	仙台市宮城野区銀杏町39-25	〒983-0047	TEL.022-232-0115	FAX.022-238-9248
札幌営業所	札幌市中央区北11条西23丁目1-3	〒060-0011	TEL.011-644-2501	FAX.011-631-8998
郡山営業所	郡山市島1丁目13-9	〒963-8034	TEL.024-922-5122	FAX.024-922-4226
北関東支店				
大宮営業所	さいたま市北区本郷町1234	〒331-0802	TEL.048-665-4018	FAX.048-660-1018
新潟営業所	新潟市中央区山二ツ5丁目6-21	〒950-0922	TEL.025-287-5032	FAX.025-287-3719
長岡営業所	長岡市宮関3丁目1-21	〒940-2021	TEL.0258-29-1725	FAX.0258-29-2369
水戸営業所	水戸市白梅4丁目2-16	〒310-0804	TEL.029-224-8904	FAX.029-231-4044
土浦営業所	牛久市ひたち野西四丁目22-3 オーシャンパドラー フロアC	〒300-1206	TEL.029-870-2760	FAX.029-870-2761
宇都宮営業所	宇都宮市鶴田町3333番地18	〒320-0851	TEL.028-346-3400	FAX.028-346-9432
前橋営業所	前橋市元総社町84-3	〒371-0846	TEL.027-253-0262	FAX.027-253-0278
東京支店				
城東営業所	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル4階	〒112-0004	TEL.03-3818-7769	FAX.03-3818-6763
城西営業所			TEL.03-3818-6752	FAX.03-3818-6763
城北営業所			TEL.03-3818-6753	FAX.03-3818-6763
アクアシステム関東営業所			TEL.03-5684-0238	FAX.03-5684-0218
東京設備課			TEL.03-3818-7799	FAX.03-3818-6787
立川営業所	立川市幸町3丁目32-9	〒190-0002	TEL.042-536-2714	FAX.042-538-7080
千葉営業所	千葉市中央区今井町1493-4	〒260-0815	TEL.043-264-5252	FAX.043-226-7353
アクアシステム千葉営業所			TEL.043-264-7300	FAX.043-264-7332
横浜営業所	横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25(テクノウェイブ100 10F)	〒221-0031	TEL.045-450-5351	FAX.045-450-5352
北陸支店				
金沢営業所	金沢市松島2丁目18	〒920-0364	TEL.076-240-0350	FAX.076-240-0357
富山営業所	富山市田中町2丁目10-24	〒930-0985	TEL.076-433-2151	FAX.076-432-8234
福井営業所	福井市問屋町3丁目501番地(ウィング八田101号)	〒918-8231	TEL.0776-28-5361	FAX.0776-28-5362
中部支店				
名古屋営業所	名古屋市中区伊勢山1-1-19(名古屋急送ビル 6F)	〒460-0026	TEL.052-339-0871	FAX.052-339-0895
名古屋環境システム課			TEL.052-339-0875	FAX.052-339-0895
名古屋産業システム課			TEL.052-339-0891	FAX.052-339-0895
アクアシステム中部営業所			TEL.052-332-6510	FAX.052-332-6513
静岡営業所	静岡市駿河区豊田3丁目2-15	〒422-8027	TEL.054-285-3201	FAX.054-284-1831
沼津営業所	沼津市若葉町3-10	〒410-0059	TEL.055-923-1377	FAX.055-923-3449
浜松営業所	浜松市東区丸塚町132-1	〒435-0046	TEL.053-463-1701	FAX.053-464-1818
岐阜営業所	岐阜市六条南3丁目7-11	〒500-8358	TEL.058-271-6651	FAX.058-274-7379
大阪支店				
大阪第1営業所	吹田市岸部中5丁目1番1号	〒564-0002	TEL.06-6378-2121	FAX.06-6378-2150
大阪第2営業所			TEL.06-6378-2121	FAX.06-6378-2150
アクアシステム近畿営業所			TEL.06-6388-5221	FAX.06-6389-4126
アクア近畿ジェットパス窓口			TEL.06-6388-5223	FAX.06-6378-2150
大阪環境システム課			TEL.06-6378-2015	FAX.06-6378-2150
大阪産業システム課			TEL.06-6378-2007	FAX.06-6378-2150
南大阪営業所	堺市北区百舌鳥梅町3丁目47-1(グレース中百舌鳥トキワ2A号室)	〒591-8032	TEL.072-253-4391	FAX.072-253-6966
滋賀営業所	守山市守山2丁目16-38-103	〒524-0022	TEL.077-583-3666	FAX.077-583-3685
京都営業所	京都市伏見区竹田中川原町359番地(TMKビル 1F)	〒612-8412	TEL.075-647-1550	FAX.075-647-1537
神戸営業所	神戸市中央区多聞通2丁目4-4(ブックローン神戸ビル 7F)	〒650-0015	TEL.078-382-1991	FAX.078-382-1993
姫路営業所	姫路市栗山町111	〒670-0954	TEL.079-281-5511	FAX.079-281-1487
中国支店				
広島営業所	広島市西区三篠町3-12-21(第2ベルビィ三篠 1F)	〒733-0003	TEL.082-537-0660	FAX.082-537-0678
福山営業所	福山市御幸町森脇337-2	〒720-0003	TEL.084-961-0222	FAX.084-961-0211
米子営業所	米子市上福原5丁目1-50	〒683-0004	TEL.0859-32-2970	FAX.0859-32-2971
岡山営業所	岡山市北区今7丁目6-13	〒700-0975	TEL.086-241-4221	FAX.086-241-4230
四国支店				
高松営業所	高松市東ハゼ町4-5	〒761-8054	TEL.087-867-4040	FAX.087-867-4042
松山営業所	松山市朝生田町2丁目1-33	〒790-0952	TEL.089-935-4335	FAX.089-935-4331
九州支店				
福岡営業所	福岡市博多区山王1丁目6-3	〒812-0015	TEL.092-474-7161	FAX.092-474-7167
北九州営業所	北九州市小倉北区中井5丁目11-13	〒803-0836	TEL.093-571-5731	FAX.093-591-0192
大分営業所	大分市仲西町1丁目10-15	〒870-0135	TEL.097-551-1857	FAX.097-552-0589
熊本営業所	熊本市東区上南部2丁目7番12号	〒861-8010	TEL.096-380-8388	FAX.096-380-1795
アクアシステム南九州営業所			TEL.096-388-6615	FAX.096-388-6616
長崎営業所	長崎市大橋町7-5(横山ビル 1F)	〒852-8134	TEL.095-848-2221	FAX.095-848-5137
宮崎営業所	宮崎市大字芳士870	〒880-0123	TEL.0985-39-1577	FAX.0985-39-1089
鹿児島営業所	鹿児島市荒田2丁目59-11	〒890-0054	TEL.099-253-4321	FAX.099-253-4325

●駐在員　盛岡、甲府、長野、徳島、高知、山口、久留米、沖縄

安全に関するご注意

- ●ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ●電気工事はお買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。
  配線などの据付け工事に不備があると感電や火災の原因になることがあります。
- ●決められた製品仕様以外でのご使用はしないでください。感電・火災・故障の原因になります。

本カタログの内容についての問い合わせは、お近くの販売店、もしくは当社におたずねください。
本カタログの記載内容は、2012年6月現在のものです。

Yes, We use RecyclePaper. 再生紙を使用しています。

CAT-P-MC4W3-01-A